

第三十五回夕暮記念こども短歌大会入賞歌 中学生の部

| No. | 賞名 | 作品 | 学校名 | 学年 | 氏名 |
|-----|--------------------|---------------------------------|-----------------|----|-------|
| 1 | 市長賞 | 有限の地図に想いを巡らせて無限に広がるほくだけの空 | 東中学校 | 2年 | 小磯穂高 |
| 2 | 教育長賞 | 指揮見上げ皆と奏でる一音は私の心ビブラートする | 本町中学校 | 1年 | 三嶽愛望 |
| 3 | 秦野中ロータリー クラブ会長賞 | いつもなら祖父母と見てた大花火再開願い画面で話す | 南中学校 | 1年 | 峰尾優希 |
| 4 | 古谷円選者賞 | スパイクを決めた時に鳴り響くドンツという音仲間の歓声 | 西中学校 | 2年 | 田代将梧 |
| 5 | 古谷円選者賞 | 炎天下波多野城址に唯一人山吹色に光る鬼百合 | 東中学校 | 3年 | 上原進一 |
| 6 | 佳作 | 恐ろしい台風がさり見上げれば大地に色をそそぎこむ虹 | 西中学校 | 2年 | 早場葵 |
| 7 | 佳作 | 渡されたたすきをかけて走りだす仲間の声が僕の力に | 渋沢中学校 | 2年 | 巴悠雅 |
| 8 | 佳作 | 夏の日の県民ホールは無観客南吹（なんすい）サウンド画面へ届け | 南中学校 | 2年 | 飯田和花 |
| 9 | 佳作 | 部活中サーブ打つ時ふと見えた太陽かこむまあるい虹が | 鶴巻中学校 | 2年 | 加藤心陽 |
| 10 | 佳作 | セミたちが三時間かけて羽化をする命がけのオリンピックだ | 渋沢中学校 | 2年 | 中澤冴空 |
| 11 | 佳作 | 数学と戦うわたし夏の夜焦らすように鳴き続ける蟬 | 南中学校 | 2年 | 重野色紗 |
| 12 | 佳作 | 散歩中青空に飛ぶ赤とんぼ秋を知らせる小さな手紙 | 南中学校 | 1年 | 齋藤たみ世 |
| 13 | 佳作 | 成長と共にページが増えていく私が歩む人生の辞書 | 南中学校 | 3年 | 組山英里子 |
| 14 | 佳作 | 身構える玉ねぎに少し微笑んで初挑戦のみじん切りする | 東中学校 | 2年 | 野間尚子 |
| 15 | 佳作 | 夏終わり向日葵ゆつくり下を向く「また来年」と種を残して | 南中学校 | 1年 | 片平璃湖 |
| 16 | 佳作 | 庭先の椅子に座って思い出す優しくほほ笑む祖父の面影 | 北中学校 | 1年 | 橋本大馳 |
| 17 | 佳作 | 弟の育てた鉢のほうせん花赤白の花今緑の実 | 東中学校 | 1年 | 岡田治己 |
| 18 | 佳作 | 一画目勢いつけてはねさせる夏の条幅私の思い出 | 南中学校 | 2年 | 土田望天 |
| 19 | 佳作 | 空を見て輝く星を見つけると頑張りたいたいと思える気がする | 渋沢中学校 | 2年 | 齊藤寧南 |
| 20 | 佳作 | 通学路見上げて通った向日葵は笑顔と並ぶ制服の今 | 大根中学校 | 3年 | 松下龍之介 |
| 21 | 佳作 | 「ありがとう」言われただけでうれしくて仮面はずれて笑顔になれて | 渋沢中学校 | 2年 | 多田ゆめな |
| 22 | 佳作 | 夕ぐれの刻一刻と変わる空そつととけてく碧（あお）と紫 | 鶴巻中学校 | 2年 | 野呂小雪 |
| 23 | 佳作 | 震生湖吹き抜ける風頬撫でる金に煌めく黄昏時に | 西中学校 | 2年 | 藤原大貴 |
| 24 | 佳作 | 全滅だ茄子やすいかやトマトまで地面に残る鹿の足跡 | 東京都市大学 付属中学校 | 2年 | 武龍之介 |
| 25 | 佳作 | 差す光輝く街にいざ降臨まえとは違う俺の変身 | 南が丘中学校 | 2年 | 山岸橙佳 |